

写真と文章を関係付けて、記事の内容を捉えるための指導に対応

写真を手がかりに記事の文章を読み取る

＜学習の効果＞ ～育成される資質・能力～

- 写真と文章のそれぞれの情報を関係付けながら、記事を読み解き、より深く情報を理解する力が育成される。

学習指導要領との関連

国語 第5・6学年

「第3節 第5学年及び第6学年の内容 1〔知識及び技能〕 (2)情報の扱い方に関する事項」
(2)話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

＜学習方法＞

ぼくたち・私たちがくらした「今月の山形」

～心に残った写真を紹介合おう～

(4時間扱い)

国語第5学年との関連:教科書において新聞記事について学習した後に、継続して新聞を読むための視点を持つ学習
「国語五 銀河」光村図書(P98～)・「ひろがる言葉 小学五上」教育出版(P32～)・「新しい国語 五」(P78～)

(学習に取り組む前に) 可能であれば、約1ヶ月分の新聞を用意し、1学級で一人に1部の新聞を配付できるようにする。

1 新聞の中から興味をもった“山形の写真”を、一人1枚ずつ選ぶ。

(1時間・ワークシート)

記事を読みながら心に残る写真を一つ選び、選んだ理由をまとめる。

・「私たちが住む山形の今月の様子を知ろう」

※ 意味の分からない言葉は、随時調べる。



写真から、夢中で食べている感じが伝わる。

どんぶりの中に何が入っているのかは、写真だけではわからない。

ここがポイント！

心に残った“山形の写真”を選ぶなどの視点を持つことで、必要な情報を取捨選択できるようにする。

写真の印象や写真のみでは読み取れないことをまとめ、写真と文章の情報の違いを意識して読むことができるようにする。

2 写真の情報を詳しくとらえながら理由を見直す。(1時間・ワークシート)

- ① 記事の文章と写真とを関連付ける。
・「文章と写真とを矢印で結んだり、写真に吹き出しを付けたりしてみよう」

2020年11月18日 山形新聞

サケ汁おいしいね
尾花沢 福原小児童
住民と味わう

丹生川に遡上するサケの学習に毎年取り組んでいる尾花沢市福原小（今将史校長）の3年生が17日、同市の秋袋公民館で住民手作りのサケ汁を味わった。

サケは地元の区長らが朝の命に感謝しながら頑張った。白子の味見にも挑戦した。今年は新型コロナウイルス

地元住民手作りのサケ汁を味わう子どもたち
＝尾花沢市

サケの命をいただいているから、大切に食べたいな。

野菜をふんだんに入れて、みそ味に仕上げた。やわらくて、おいしい。

ここがポイント！
吹き出しや文章のサイドラインを書き込み、写真と文章の情報を関係付ける。

感染症の影響で例年の学習ができていないという「軟らかくておいしい」とが、子どもたちは「いろいろお代わりし、3杯平らげた。」と話し（玉虫秀明）

- ② 写真を選んだ理由の補足や初見の印象との違いをまとめる。

3 選んだ写真を説明する文章をまとめる。(1時間)

こんな方法もあります

- ・ タブレット等を活用して写真を画像として保存し、音声を入れた動画を作成すると、ニュースキャスターのような発表もできます。
- ・ 「今月の山形」として、写真と説明する文章を廊下等に掲示すると、子どもたちの力で、季節感のある環境をつくり出すことができます。

こんなテーマもあります

「スポーツで活躍している山形県民」「マネしたい山形県の小学生」など、あるテーマの人を対象としても可能性が広がりそうです。